

# 「ケア労働とジェンダー」連続講演会のお知らせ

## フォーラム 労働・社会政策・ジェンダー

当フォーラムの2021年度例会のテーマは「ケア労働とジェンダー」です。関連して、以下の連続講演会（全3回）を企画しております。お申し込みは各回ごとにお願ひします。

第1回 2021年6月11日（金）午後7時より2時間程度

講師 伊藤 みどりさん（ホームヘルパー国家賠償訴訟原告）

演題 「ケア労働とジェンダー：機会均等論を越えて」

コメント 伊田 久美子さん（大阪府立大学名誉教授）

第2回 2021年9月10日（金） 午後7時開始。

講師 山根 純佳さん（実践女子大学教員）

演題 「介護保険制度とジェンダー：ケアの市場化の功罪」

コメント 植本 眞砂子さん「高齢社会をよくする女性の会・大阪」代表

第3回 2022年1月28日（金） 午後7時開始。

講師 森 詩恵さん（大阪経済大学教員）

演題 「ケアを担う人々への支援と課題-介護労働者と家族介護者」（仮題）

コメント「全3回を振り返って」 北 明美さん（福井県立大学非常勤講師・同名誉教授）

以下は直近の第1回 <Zoom形式>の再度のご案内です。

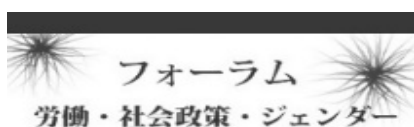
「介護の社会化」を期待された介護保険。しかしそれは今、公費抑制策のもとで、ケア労働者の待遇改善を保険料や利用料の引き上げ、事業所の倒産に直結させるようなディレンマ・トリレンマの対立の装置と化しています。

こうしたなか、伊藤さんたちは労働基準法の遵守さえ困難にされている現状を告発する「ホームヘルパー国家賠償訴訟」を提起されました。

介護保険は男性基準を前提にした「機会均等法」路線の延長線上にあったのではないかと鋭く批判し、この路線に乗れない「制約のある人たち」を起点とするフェミニズムの構築をよびかける伊藤さんのお話、早い時期からアンペイド・ワーク論を研究してこられた伊田久美子さんが応答します。興味深くかつ刺激的なお話がうかがえることと思います。

下記URLより皆様のお申し込みをお待ちしております。

<https://forms.gle/yL8Xj6ftXmSQvYx9> （お申し込み締め切り 6月8日・参加費 1000円）



問い合わせ先 tnforum2013renraku@gmail.com